

2019年3月4日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
(TEL：078-302-7075)

Wntシグナル阻害剤に係る日本における特許査定のお知らせ

当社と国立研究開発法人国立がん研究センター（理事長：中釜 斉、所在地：東京都中央区、以下「国立がん研究センター」という）との共同研究において創出したWntシグナル阻害剤の特許出願（発明の名称：新規キナゾリン誘導體、出願番号：2015-551587）に関し、日本国特許庁より特許査定を受けましたのでお知らせいたします。

当社は、知的財産戦略上において重要な特許取得に引き続き積極的に取り組んでまいります。

以 上

(注) Wntシグナルは、幹細胞の増殖と分化を調節して恒常性の維持管理をしており、様々ながんやがん幹細胞で、このWntシグナルが活性化されていることが知られています。また、最近になってWntシグナル阻害薬は、がん免疫療法での応用の可能性も考えられるようになってきました。当社と国立がん研究センターは、Wntシグナルを標的としたキナーゼ阻害薬の共同研究を2008年から行っており、画期的な治療薬の開発を目指して、引き続き共同研究を進めてまいります。